

令和6（2024）年度第2回大田原市立小中学校教科用図書選定委員会 会議録

会議名称 令和6（2024）年度 第2回大田原市立小中学校教科用図書選定委員会

日 時 令和6（2024）年7月9日（火） 午前9時30分開会 午後2時36分閉会

会 場 大田原市役所102会議室

出席者

●選定委員

●事務局

氏 名	役 職	氏 名	役 職
篠山 充	教育委員会教育長	君島 敬	教育部長
小林 朋子	教育委員会教育委員	小室 和徳	学校教育課長
菊地 孝行	区長連絡協議会副会長	木村 哲哉	学校教育課学校教育係長
越井 二郎	自治公民館連絡協議会副会長	横山 泰子	学校教育課指導主事
大江 満仁	大田原市小中学校長副会長	内海 知恵	学校教育課指導主事
津久井宏哉	PTA連絡協議会		
室井 秀一	PTA連絡協議会		

事務局：定刻になりましたので、ただ今から、令和6（2024）年度第2回大田原市立小中学校教科用図書選定委員会を開会いたします。はじめに、篠山会長より御挨拶を申し上げます。

会 長：皆様、改めましておはようございます。本日は、大変お忙しいところ、本市の第2回小中学校教科用図書選定委員会にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

さて、本日の会議は、調査員より調査結果の報告を受け、明日の教育委員会への答申内容を検討する会議になります。調査員は、本市の子どもたちの実態に基づき、どの教科書が良いかという観点で調査研究をしております。本日はその調査結果に基づいての選定をお願いいたします。

なお、本会議は前回の会議で確認しましたとおり、大田原市立小中学校教科用図書選定委員会設置要綱第7条により、選定委員会による協議は公開、調査員会の報告及び選定委員会による議決は、非公開とさせていただきます。どうぞ本市の子どもたちのために、最も適した教科書の採択を答申できますよう、慎重なる御審議をお願いいたしまして、私の挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

事務局：次は、調査員による報告となりますので、傍聴の皆様は、退席をお願いいたします。公開の協議のところになりましたら、再度、入口を開けさせていただきます。

事務局：報告に入る前に、事務局から連絡がございます。

事務局：本日の資料について確認いたします。要項と資料が1～5まであります。これらの資料につきましては、本日の会議終了後には回収をさせていただきます。次に、本日の流れにつきまして確認いたします。要項の表紙をご覧ください。この後、3の調査結果の「報告・質疑、協議、議決」です。まずは、国語・書写から理科までそれぞれについて時間を区切って「報告・質疑」を進めます。この「報告・質疑」とは、各教科の調査員から調査結果の報告があり、報告の内容をお聞きいただいた後、皆様の質問の時間を設けます。皆様から、報告の内容やその他疑問点について質問をしていただきます。こちらは非公開です。そのあと、委員の皆様には、「協議」をしていただきます。「協議」は公開で、傍聴人が入室します。選定委員の方々による意見交換の時間となります。本市の児童・生徒が使用するにふさわしい教科用図書についての御意見をお願いいたします。「協議」のあとは、「議決」をします。非公開です。傍聴人は退室いたします。そのあと、いったん休憩を入れ、音楽からまた同様の流れで進めて参ります。昼食後も委員会を進め、15時30分、終了の予定です。

次に、要項2ページ「特別支援学級の教科用図書採択・使用上の注意」をご覧ください。1採択・使用の原則の2行目途中からです。「学校教育法附則第9条の規定により、小・中学校の特別支援学級で特別の教育課程による場合において、教科により当該学年の検定済教科書を使用することが適当でないときは、他の適切な教科書を使用することができることとなっている」とあります。そのことについてさらに、2の(5)をご覧ください。「検定済教科書の下学年用及び、文部科学省著作教科書を使用することが不適当な場合にあっては、絵本等の一般図書を教科書として採択・使用することができる」となっています。本日は、この「一般図書」も選定していただきます。要項3、4ページをご覧ください。表の中の一般図書の欄にある○印のついている図書に関しては、現在も大田原市の特別支援学級において使用しているものです。◇印、ダイヤのようなマークですが、◇印のものが今年度新たに調査研究した一般図書です。本日はこの◇印の図書を中心に代表者から報告があります。私からは以上です。

事務局：では、このあとの進行は会長をお願いいたします。

会長：それでは、ここからの進行につきましては、私の方で進めさせていただきます。

会長：まず、国語・書写についての報告でございます。調査員の先生の入室をお願いいたします。

会長：調査内容について、報告をお願いします。

調査員：中学校教科用図書「国語科」の調査研究の結果を御報告いたします。よろしくお願いいたします。
「国語科」は4社の教科書について、様々な観点をもとに詳しく調査研究を行いました。

まず、「各教科用図書の特徴」について御説明いたします。

(1)東京書籍株式会社です。教材の配列について、「読むこと」の教材で習得したことを、「話すこと・聞くこと」や「書くこと」の教材で活用・定着することができるよう領域間の関連が図ら

れています。例えば、1年の教科書118～127ページの「私のタンポポ研究」、128～129ページの「意見と根拠」、130～133ページも「『写真』の意見文」が挙げられます。また、3年間を通して系統的・段階的な指導ができるよう工夫されています。

(2)株式会社三省堂です。1年の教科書24～25ページをご覧ください。生徒が見通しをもって文章を読み、自分の考えを深め、学びを振り返るまでの過程が「学びの道しるべ」で示されています。また、44～46ページのような「読み方を学ぼう」と合わせて主体的に学習を進めることができるよう配慮されています。

(3)教育出版株式会社です。3年の教科書320～326ページをご覧ください。各学年の「理解に役立つ言葉」、「表現に役立つ言葉」、「学習に必要な用語・索引」では、思考や表現のための語彙集や主な学習用語がまとめられており、主体的に言葉の学習に取り組むことができるよう配慮されています。

(4)光村図書出版株式会社です。各学年で単元のテーマを8つに整理し、学習内容を段階的・系統的に構成することで、学年の発達の段階に応じて学びを深めることができるよう工夫されています。例えば、単元5「論理」では、1年「筋道を立てて」128～145ページ、2年「論理を捉えて」122～135ページ、3年「自らの考えを」130～139ページと学年の段階に応じて、段階的に学びを深められるようになっています。

続きまして、「推薦する教科用図書」について御説明いたします。以上4社の教科用図書について調査研究を進めてきた結果、次にあげる2社を推薦いたします。

まず、推薦するのは、東京書籍株式会社の教科書です。推薦の主な理由を述べます。

まず、3年の教科書202～203ページをご覧ください。「学びを支える言葉の力」として、全学年を通して「情報と論理の学び」、「文学の学び」、「対話の学び」の3つが設定されており、学年の発達の段階に応じて、各領域の学習を支える基礎的な力を習得することができるよう工夫されています。

次に、3年の教科書280～282ページをご覧ください。各学年の「思考のヒント」では、思考ツールの使い方が掲載されており、各領域の教材と関連付けて活用することで、生徒が思考を深めたり広げたり、整理したりすることができるよう工夫されています。

3つ目に、「平家物語」、「万葉・古今・新古今」、「おくのほそ道」では、地域にゆかりのある題材が取り上げられています。「平家物語」では、大田原に深く関わりのある那須与一が登場する「扇の的」の段を学習することで単に古典の学習をするだけでなく、郷土愛を育むことにもつながると考えます。3年の教科書135ページ、141ページをご覧ください。「万葉・古今・新古今」では西行法師の和歌を扱い、「おくのほそ道」にある「『おくの細道』旅程図」でも遊行柳や黒羽についての記述があり、生徒たちも意欲的に学習に臨めると考えられます。

次に推薦するのは、光村図書出版株式会社の教科書です。

まず、1年の教科書50～51ページをご覧ください。各教材の最後には、学びの見通し、課題やその解決の仕方、学習指導要領の指導事項に基づいた振り返りまでの一連の流れが示された「学びへの扉」と、学習の要点が示された「学びのカギ」を見開きで設置することで、その教材で育成

を目指す資質・能力とその学習過程を把握しやすいよう工夫されています。

次に、1年の教科書 267～274 ページのように、系統別に整理された豊富な語彙例と用例が示された巻末の「語彙ブック」では、生徒がたくさんの言葉と出会うことで、自分の思考や感情を言語化することができるよう配慮されています。

3つ目として、東京書籍と同じように、「扇の的——『平家物語』から」、「君待つと——万葉・古今・新古今」、「夏草——『おくのほそ道』から」では、地域にゆかりのある題材が取り上げられています。那須与一の話や遊行柳を扱った和歌を学習することで、本市の生徒が郷土愛を育み、より学習意欲を高めることができると考えます。

以上のことから、順位を付けるとすれば、東京書籍株式会社 を推薦します。

続けて、中学校教科用図書「書写」の調査研究の結果を御報告いたします。「書写」は4社の教科書について、様々な観点をもとに詳しく調査研究を行いました。

まず、「各教科用図書の特徴」について御説明いたします。

(1)東京書籍株式会社です。39～41 ページをご覧ください。他教科や特別活動で扱われる言語活動や題材を取り上げることで、書写の学習内容が他教科の場面で生かされていることを実感し、書写の学習内容の重要性を理解することができるよう工夫されています。

(2)株式会社三省堂です。34～36 ページをご覧ください。各教材で、このように「書き方を学ぼう」が設定されており、一目で学習内容を把握することができるように配慮されています。

(3)教育出版株式会社です。10～11 ページをご覧ください。「学習の進め方」で学習ステップがわかるアイコンを提示して学習活動の流れを説明するとともに、毛筆の学習でも、「目標」「考えよう」「生かそう」「振り返ろう」のマークを提示することで、生徒が学習過程を意識して学習を進めることができるよう配慮されています。

(4)光村図書出版株式会社です。41 ページ、55 ページをご覧ください。始筆・送筆・終筆のリズムや筆圧の強さが特徴的な表現で示されており、基礎的な内容を繰り返し意識させることで既習事項を生かしながら毛筆の学習に取り組むことができるよう配慮されています。

次に、「推薦する教科用図書」について御説明いたします。以上4社の教科用図書について調査研究を進めてきた結果、次にあげる2社を推薦いたします。

まず、推薦するのは、東京書籍株式会社の教科書です。主な推薦理由を述べます。

まず、44 ページをご覧ください。各学年の「書写テストに挑戦！」では、授業を通して学習した知識・技能を振り返ることで、書写で必要な知識および技能の定着が図られるよう工夫されています。

次に、オレンジの部分の「書写活用ブック」15 ページをご覧ください。「硬筆辞典」として、常用漢字表や人名漢字表に掲載されている漢字の楷書体と行書体が掲載されており、生徒が自分で書きたい文字の手本として参照することができます。このことは、生徒の興味・関心や能力に応じて学習することにつながる工夫と考えられます。

次に、39～41 ページをご覧ください。書写の授業で学んだ内容を日常生活や学校生活、社会生活

で活用できる場面が取り上げられており、学習内容を他教科の授業や学校生活や社会生活の場面で生かせるよう工夫されています。

次に推薦するのは、光村図書出版株式会社の教科書です。

30～36 ページをご覧ください。「中学書写スタートブック」では、書写の学習の基礎的・基本的な内容が明示されており、小学校までの学習内容を確認し、書写の学習の進め方を、生徒自身が把握しやすくなっています。

次に、1～28 ページをご覧ください。別冊「書写ブック」を用いることで、毛筆で学んだことを硬筆で生かしたり、繰り返し確認したりすることができるように工夫されています。

続いて、18 ページをご覧ください。「言葉を書こう2」では、国語の教科書と関連する題材、「平家物語」「扇の的」の一節が取り上げられております。大田原市にゆかりのある題材が教材として取り上げられていることから、生徒が主体的に学習に取り組めることが期待されます。

以上のことから、順位を付けるとすれば、東京書籍株式会社 を推薦します。

会 長：ありがとうございました。それでは、ただ今、国語と書写につきまして御報告をいただきました。このような内容について、委員の皆様から御質問等ありましたらお受けしたいと思います。

委 員：ありません。

会 長：よろしいですか。ほかの皆様もよろしいですか。それでは、調査員の先生、ありがとうございました。

会 長：続きまして、社会・地図についての報告になります。調査員の先生の入室をお願いいたします。

会 長：それでは調査内容について、報告をお願いします。

調査員：中学校教科用図書「社会科」の調査研究の結果を御報告いたします。よろしくお願いいたします。す。「社会科」は地理4社、歴史9社、公民6社、地図2社の教科書の調査研究を行いました。これから、それぞれの教科書の主な特徴について御報告いたします。

まず、「調査研究の観点」について御説明いたします。様々な観点について考えましたが、地理・歴史・公民と地図をそれぞれ4つの観点について詳しく調査、研究を進めました。

地理・歴史・公民の調査観点について申し上げます。1点目は、学習指導要領に示された目標や内容について配慮されているか。2点目は、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習及び指導ができるよう配慮されているか。3点目は、補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。4点目は、構成、配列、系統性について配慮されているか。以上、4つの観点になります。

次に地図の調査観点について申し上げます。1点目、2点目は、先ほど申し上げた内容と同じです。3点目は、挿絵、写真、図表、グラフ等は内容に対応した適切なものであるか。4点目は、補的な学習、発展的な学習について配慮されているかです。

次に、「各教科用図書の特徴」について御説明いたします。

まずはじめに、地理的分野です。

(1) 東京書籍です。単元のまとまりを意識して深い学びにつなげることができるよう単元を貫く探究課題を設定し、1時間ごとの学習課題と単元をふり返る活動「探究のステップ」を設け、段階を踏んでスムーズに探究課題を解決できるよう工夫されています。

(2) 教育出版です。章ごとに設定されている学習テーマについて学習を進め、本時や単元の終末には学習内容を確認する学習活動が位置付けられており、学んだ知識を確実に習得することができるよう配慮されています。

(3) 帝国書院です。章、節、各本文ページそれぞれの冒頭で学習する内容を「問い」で示し、生徒みずからが学習の見通しをもてるよう工夫されています。

(4) 日本文教出版です。「編・章・節の問い」を設定し、その問いについて自分の考えをまとめるページを設けており、生徒が何をどのように学ぶのかの見通しをもって学習に取り組めるよう工夫されています。

以上4社の教科用図書について調査研究を進めてきた結果、次にあげる2社を推薦いたします。

まず、推薦するのは、「東京書籍」の教科書です。

121ページにあるような、単元全体を通した探究課題を軸とし、毎時間ごとに課題解決的な学習ができるよう構成されており、多面的・多角的な考察が促されるよう工夫されています。

単元末のまとめの活動では、多様な意見に触れる対話的な活動を行ったり、127ページにあるような思考ツールを活用して考察したりするなど、学びを深められるよう工夫されています。

次に推薦するのは、「帝国書院」の教科書です。

単元を貫く課題が明確で、各時間の学習課題に取り組み、単元末で学んだことを整理し、さらに深い学びにつながるように構成が工夫されています。

巻頭8ページをご覧ください。このページでは、地理的な見方・考え方とは何かについて、写真や事例を基にわかりやすく説明されています。また、各単元において地理的な見方・考え方を働かせて学習課題を追及し解決できるよう配慮されています。

次に150ページをご覧ください。このページでは、ハザードマップを使って避難先を考える

「自然災害から命を守ろう」といった、地域にみられる課題を考察し、解決への取り組みを考

えるパフォーマンス課題を設定しています。将来、本市を支えていくことになる生徒の、主体的に社会参画しようとする態度を養うことにつながると考えられます。

以上のことから、順位を付けるとすれば、帝国書院を推薦いたします。

次は、歴史的分野です。

(1)東京書籍です。単元や1単位時間において解決すべき課題が明確になるよう問いが提示されており、課題を追究する活動を通して、歴史の大きな流れを理解することができるよう工夫されています。

(2)教育出版です。視点や方法を意識的にはたらかせながら学習を進めていくための紙面や資料活用の技能を身につけるためのコーナーを設定し、思考や理解を深めながら学習を進めることができるよう工夫されています。

(3)帝国書院です。一つの歴史に関わる事象について、様々な人々の営みや人々が連携・協働している姿を描写したり、異なる考えや対立する考えを両論併記した資料を掲載したりするなど、多面的・多角的に考察することができるよう工夫されており、思考力、判断力、表現力等を養うことができるよう工夫されています。

(4)山川出版社です。豊富で多様な発問があり、それを通して生徒自身が主体的・対話的で深い学びができるように促し、考える力を養えるように工夫されています。また、高等学校の歴史学習との円滑な接続ができるよう歴史的事象に対する因果関係を重視した説明や記述がされています。

(5)日本文教出版です。発問が構造化されており内容のまとまりでの授業がしやすくなっています。各時間の「学習課題」を積み重ねて「節の問い」や「編・章の問い」を解決する構造となっており、それに沿って授業を進めていくことで、主体的・対話的で深い学びができるよう工夫されています。

(6)自由社です。時代や人物を比較したり、時代の特色を表現したりする活動が設定されており、生徒が多面的・多角的に時代を捉えることができるよう工夫されています。

(7)育鵬社です。「鳥の目」のイラスト表示で歴史を大観し、「虫の目」のイラスト表示で細かく資料を読み解くことが示されているなど、歴史の流れや各時代の特色を捉えやすくなるよう構成されています。また、問題解決型の学習を多く取り入れることで生徒の「主体的・対話的で深い学び」を促す工夫がされています。

(8)学び舎です。指導的な立場の人物だけでなく、様々な分野や階層の人々の生活、社会的な業績などを具体的に記載し、多面的・多角的に考察しながら、思考力・判断力・表現力等が養えるよう工夫されています。

(9)令和書籍です。人物に焦点を当てた歴史を多く学んだり、原典資料や一次資料を多く使用したりすることで、生徒の興味・関心が高まる工夫がされています。

以上9社の教科用図書について調査研究を進めてきた結果、次にあげる2社を推薦いたします。

まず、推薦するのは、「帝国書院」の教科書です。

103ページをご覧ください。「章の振り返り」で、異なる時代に関する資料が掲載されており、それぞれの時代の特色について、資料を比較したり、関連付けたりすることを通して、多面的・多角的な視点から考察することができるよう工夫されています。

26～27ページをご覧ください。時代の特色がわかる「タイムトラベル」では、これから学習する時代の暮らしの様子が見開き2ページで提示されており、時代の様子を概観し、学習に対する興味・関心を高めることができるよう工夫されています。

「歴史を探ろう」や「地域史」では、学習内容に関連する豊富な資料が掲載されており、当時の社会を中央だけではなく、地域の視点からも見るできるようになっています。また、「人物コラム」では、地域で活躍した人や女性など、さまざまな立場の人々を紹介しています。これらの工夫によって多様な立場や異なる見方を学び、歴史を多角的に捉えることができるようになっています。

次に、推薦するのは、「育鵬社」の教科書です。

見開きごとに「確認」、「探究」のコーナーが設けられており、学習内容を振り返るとともに、基礎的・基本的な知識の定着を図ることができるよう配慮されています。

1単位時間の導入では、歴史上の人物や史跡などに関する様々な資料が提示されており、資料を比較したり関連付けたりする活動を通して、多面的・多角的に考察することができるよう工夫されています。

主体的・対話的な活動を促す「TRY!!」では、学習内容に関連して、グループで話し合ったり、調べ学習を促したりする課題が提示され、主体的に課題を追究することができるよう工夫されています。

24～25ページをご覧ください。各章において「つかむ、調べる、まとめる、表現する」の流れで学習することができるよう構成されており、課題追究的な学習を通して、主体的に情報を収集したり、社会的事象について考察したりすることで、学習内容をより深く理解することができるよう配慮されています。

以上のことから、順位を付けるとすれば、育鵬社を推薦します。

次は、公民的分野です。

(1) 東京書籍です。現代的な諸課題を自分ごととして捉え、課題解決的な学習を実現できるような問いが設定されるなど工夫されています。

(2) 教育出版です。SDGs、持続可能な開発目標の視点をもって課題をとらえ、多面的、多角的に考察できるよう工夫されています。

(3) 帝国書院です。身近な事例から、実感を持って学習し、自分ごととして社会に参画する意識を育むことができるよう工夫されています。

(4) 日本文教出版です。見方・考え方を生かし、主体的・対話的で深い学びを実現できるよう工夫されています。

(5) 自由社です。生徒にとって身近な課題が取り上げられ、対話的な活動を通して、課題を解決することができるよう工夫されています。

(6) 育鵬社です。章の導入では、学習する内容に関連するイラストや写真資料が提示されており、章における学習の見通しをもち、主体的に課題追究に取り組むことができるよう工夫されています。

以上6社の教科用図書について調査研究を進めてきた結果、次にあげる2社を推薦いたします。

まず推薦するのは、「日本文教出版」の教科書です。

6～7ページをご覧ください。各章の導入部では、イラストを用いて生徒にとって身近な社会的事象について問題提起されており、生徒が章の学習内容について興味・関心を高めるとともに、対話的な活動を通して章や節の問いを立てることや学習を見通すことができるよう工夫されています。

「問いを立て、学習を見通す」、「問いについて追究する」、「まとめ、ふり返る」という思考の流れを重視した課題追究的な学習過程で構成され学習活動がしやすくなっており、「アクティビティ」では、見方・考え方を働かせて、学習内容の理解を深めることができるよう課題が設定されており、主体的・対話的で深い学びを実現することができるよう工夫されています。

次に推薦するのは「育鵬社」の教科書です。

78～79ページをご覧ください。学びのナビゲーションによる「課題をつかむ」、「課題について調べる」、「課題についてまとめる・表現する」と、課題追究的な学習過程が設定されており、どうやって学ぶか、なぜ学ぶのかを的確に揭示することにより学習への見通しをもち、主体的に課題解決に向けて、資料を活用しながら学習に取り組むことができるようになっています。

114～115ページをご覧ください。社会的な事象を自分事として捉えられるように「学習のこれから」があり、話し合いなどで見方・考え方を広げ、物事の多様性に気付いたうえで、学習活動を深められるようになっています。

「やってみよう」では、話し合いを通して課題解決を図る活動が設定されており、他者の意見を踏まえて自分の考えを再構成するなど、思考を深めることができるよう工夫されています。また、「見方・考え方」、「資料活用」、「TRY!!」のコーナーでは、思考力・判断力・資料活用能力を育み、身近なできごとや自分の生活に影響があることを取り上げ、発展的な内容を話し合ったり、調べたりして、対話的な取り組みができるよう工夫されています。

218 ページをご覧ください。巻末の法令集が大変充実しています。社会的事象や事例などをより詳しく理解することができます。

以上のことから、順位を付けるとすれば、育鵬社を推薦します。

最後に、地図の分野です。

(1) 東京書籍です。ほとんどのページにミツバチのキャラクターが配置され、そのキャラクターから疑問や問いが読者に投げかけられており生徒が興味・関心をもてるよう工夫されています。この問いは、教員にとっても地図帳を活用した授業の課題を提示しやすい工夫となっていると感じました。また、各地域の河川と平野の区別、平地と丘陵地の区別等がわかりやすい配色になっており、色覚的に地域の自然地形の特徴が捉えやすくなっています。巻末の統計資料においては、各都道府県ごとの産業別人口割合や年齢別の人口構成の割合等が数字だけではなく、グラフ化されて表記されるなど、工夫が見られます。

(2) 帝国書院です。ほとんどのページに凡例が明示され、色別に標高差や土地利用のされ方がわかりやすいように工夫がされています。世界の諸地域については、地域ごとに鳥瞰図が取り入れられ、自然環境、生活、文化、産業などがイラストで表記されているなど、地域の特色を理解しやすいよう工夫がされています。また、巻末の都道府県別の生産ランキングや国別の生産量ランキングを表す帯グラフにイラストが付与されており、生徒にとってイメージが付きやすいように工夫がされています。

以上2社とも生徒が学習しやすい工夫がされておりましたので、この2社を推薦します。

まず、推薦するのは、「東京書籍」の地図です。

「世界の諸地域」及び「日本の諸地域」では、それぞれのページにその地域を横から見た「断面図」が設けられ、生徒が立体的にその地域を捉えられるような工夫がなされています。

また、ほとんどのページに、キャラクターが配置され、そのキャラクターから疑問や問いが読者に投げかけられており、生徒が興味・関心をもてるよう工夫がされています。例えば、79 ページをご覧ください。瀬戸内地方の地図においては、瀬戸内海の島々における果物の生産に目を向けるような問いが設定されており、瀬戸内の気候と果物の生産の強い関連性に思考が及ぶような工夫がなされています。これらは、生徒のみならず、教員の授業考案の補助にもなり得る工夫だと考えます。

また、「世界の諸地域」及び「日本の諸地域」では、全地域において鳥瞰図が配置され、海溝の深さから、山脈の高さなどが立体的に大観できるように工夫されています。

一般図のページにおいては、地形の色分けや土地利用の色分けが、多くの生徒にとって見やすいものになっており、特に河川の表記において、他社に比べて見やすい配色となっています。さらに、史跡や歴史と関連性が高い観光地および戦乱があった場所などが明示されており、分野をまたいで地図帳が活用できるような工夫がされていると思います。例えば、103 ページをご覧ください。「関東地方」のページにおいては「東照宮」、「足尾銅山跡」、「足利学校」などの栃木県を代表する史跡に紫色のタグが付けられ、一目で歴史との関連性に気づくことができるようになっていくことがわかるかと思います。

最後に巻末の統計資料、159 ページをご覧ください。各国の「年平均人口増加率」や「日本との貿易額」が記載されていたり、各都道府県の「産業別人口割合」や「年齢別の人口構成の割合」等が数字だけではなく、グラフ化されて記載されていたりして、授業で取り扱う教材として有効なものが多く採用されています。

次に、推薦するのは、「帝国書院」の地図です。

「地図活用」のコーナーが随所に配置されるとともに、地図を見る視点が示されており多面的な考察につながるよう工夫されています。例えば9 ページをご覧ください。ここから 22 ページまで、多くの主題図が配置されており、1・2 年の地理的学習での活用はもちろん、歴史の学習においても活用できる地図が数多く掲載されています。

地理の授業の様々な場面で活用され得る有益な資料や、地理の学習へ関心の高い生徒が自主的に読み進める上で、興味が湧く資料が多数掲載されている。例えば、175 ページをご覧ください。「自然の統計」資料があり、世界のおもな山・川・湖・島などがランキング順に掲載されています。

日本の各地域において、歴史との関連性を想起させる地図が配置されており、深い学びへとつながるような工夫も見られます。例えば、117 ページをご覧ください。「本州中央部と五街道」という地図においては、江戸時代の要所であった江戸～大阪間の交通網の当時の発展の様子がうかがえる地図が配置されています。また、近畿地方においては、大阪市・京都市・奈良市などの文化財と観光地の資料も充実し、関西方面の修学旅行の学習にも生かされることが考えられます。特に 110 ページにおいては、近畿地方のそれらがイラストで一望できる地図が設けられており、単元学習において有効活用できる地図であると考えます。

以上のことから、順位を付けるとすれば、東京書籍 を推薦します。

以上で、社会科の調査研究報告を終了します。

会 長：ありがとうございました。それではただ今、御報告いただきました内容について、委員の皆様

方からの御質問がありましたらお願いしたいと思います。

委員：単純に疑問なのですが、選定する教科書が歴史は9社、それ以外は4社、5社となっていますが、なぜ歴史はこんなに多いのでしょうか。

事務局：各出版社が作成した教科書については、国の検定に合格したものが採択の対象となります。出版社が作成したもの、検定を合格したものの結果、社会の中で歴史が一番多かったということだと考えます。

委員：わかりました。ありがとうございます。

会長：その他いかがでしょうか。大丈夫ですか。
では、調査員の先生、ありがとうございました。

会長：続きまして、数学についての報告になります。調査員の先生の入室をお願いいたします。

会長：調査内容について、報告をお願いします。

調査員：中学校教科用図書「数学科」の調査研究の結果を御報告いたします。よろしくお願いいたします。
「数学科」は7社の教科書について、様々な観点をもとに詳しく調査研究を行いました。

では、「各教科用図書の特徴」について御説明いたします。

(1)東京書籍です。各単元で「例」、「問」、「基本の問題」という段階的な学習が設定され、巻末には「補充の問題」や既習内容を確認できる「学びのベース」が掲載されており、基礎的・基本的な概念や性質を習得することができるよう工夫されています。

(2)大日本図書です。生徒の思考を踏まえ、図や表、グラフなどを用いて数学的に表現・処理する技能を習得することができるよう工夫されています。計算の解説や箱ひげ図の解説がとても丁寧で、基礎的・基本的な技能を確実に身に付けることができるよう工夫されています。

(3)学校図書です。各領域の内容に入る前に「ふりかえり」が設けられており、既習事項を確認することができます。また、章末の「まとめの問題」では、「基本」、「応用」、「活用」の3つの段階に分かれており、個人の定着の段階に応じた学習ができるよう配慮されています。

(4)教育出版です。「学んだことを活用しよう」では、身近な話題が掲載されており、数学の有用性に気付くことができるよう工夫されています。また、実生活や日常生活、最新テクノロジーなどの数学に関わる話題や、職業人インタビューも掲載されており、数学を学ぶ意義や必要性を実感することができるよう工夫されています。

(5)新興出版社啓林館です。思考力、判断力、表現力等を育成する場面として、「話しあおう」

が掲載されており、誤答例について、話し合うことから思考力・判断力を高めることができるよう工夫されています。章末問題では、生徒一人一人の定着の段階に対応することができるよう配慮されています。

(6)数研出版です。章の学習の理解に必要な内容を幅広く確認することができたり、登場人物の会話を通して、既習事項を想起させるきっかけを示したりと、既習内容を振り返りながら学習を進めることができるよう配慮されています。

(7)日本文教出版です。主体的・対話的で深い学びを実現する場面として「学び合おう」が設定されています。特に、発展的問題では「対話シート」を活用することで考えを深めることができるよう工夫されています。

では、「推薦する教科用図書」について御説明いたします。以上7社の教科用図書について調査研究を進めてきた結果、次にあげる2社を推薦いたします。

まず、推薦するのは、教育出版の教科書です。推薦の主な理由を述べます。

まず、数学の有用性に気付くことができるよう工夫されています。1年生の教科書70ページをご覧ください。「数学しごと人」では、職業人インタビューが掲載されています。「数学の広場」では、実生活や日常生活、最新テクノロジーなどの数学に関わる話題が掲載されており、数学を学ぶ意義や必要性を実感することができるよう工夫されています。

次に、1年の1章が、「整数の見方」から始まっています。正の数、負の数の単元で負の数を学習する前に、整数についての学習を深めることができます。1年生の教科書72ページをご覧ください。こちらの左側のように「学習する前に」、次の単元の学習をする前にということで、次の単元と既習内容との関連が捉えられています。このように、スムーズに新出内容の学習に取り組めるよう配慮されています。

では次に、2年生の教科書30ページをご覧ください。こちら話し合い活動の場面ですが「学びのプロセス」、右側の方に縦軸で側注に記載されています。まず個人の考え「自分で考えてみよう」から、気付いた内容を、「友達の考えを知ろう」ということで学び合いを通して深めることで、主体的・対話的で深い学びを実現させることができるよう工夫されています。

次に推薦するのは、新興出版社啓林館の教科書です。

思考力、判断力、表現力等を育成する場面として、既習内容の課題に関連した学習内容が記載されています。1年生の教科書229ページをご覧ください。こちらは、1ページの中で、度数分布表、ヒストグラム、度数分布多角形から、どちらの滞空時間が長いといえるか自分の考えを表現することで、問題解決に必要な数学的な思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されています。そして、友人と話し合うことにより深い学び合いができるようにも工夫されています。また、2年生の教科書27ページをご覧ください。あえて誤答例について、

話し合うことから思考力・判断力を高めることができるよう配慮されています。

そして、章末には、「学びをたしかめよう」や「学びを身につけよう」が掲載されており、補充的な学習から発展的な学習に対応することができるよう工夫されています。2年生の教科書160～161ページをご覧ください。ここでは見開きで、補充的な学習に取り組めるとともに、右下の部分の「5章のあしあと」として、章の学習の振り返りができるようになっています。また、次の162～163ページをご覧ください。ここでは発展的な学習を取り上げることで生徒一人一人の定着の段階に対応することができるよう配慮されています。

そして、節の導入や問いの側注に二次元コードが提示されており、ICTを活用して意欲的に学習を進めることができるよう工夫されています。右上の二次元コードです。3年生の教科書91ページに掲載されていますが、ここでは、考え方、解答、解説動画ということで、二次元コードを読み取れますが、問題解説では段階を踏んで動画のようになっており、解説を視聴することで生徒自身が十分に理解を深めることができるよう配慮されています。（動画再生）子供たち一人一人の段階に応じて、何度も視聴ができます。

以上のことから、順位を付けるとすれば、新興出版社啓林館を推薦します。

会 長：ありがとうございました。ただ今、報告いただきました内容について、委員の皆様から質問がございましたらお願いしたいと思います。

会 長：よろしいでしょうか。調査員の先生ありがとうございました。

会 長：続きまして、理科についての報告です。調査員の先生の入室をお願いいたします。

会 長：それでは、調査内容について、報告をお願いします。

調査員：中学校教科用図書「理科」の調査研究の結果を御報告いたします。よろしくお願いいたします。
「理科」は5社の教科書について、様々な観点をもとに詳しく調査研究を行いました。

まずは、「各教科用図書の特徴」について御説明いたします。

(1)東京書籍です。掲載されているコラムの中で、学習内容が職業や日常生活と関連していること、科学の有用性を実感することなどができるよう工夫されています。理科を学習することで、日常生活でどのように生かされているかを知り、理科の面白さを実感することによって、生徒が主体的に学習に取り組む態度を養えるよう配慮されています。

(2)大日本図書です。各单元末に「探究活動」のページが設けられています。生徒はこれまで学習してきたことを基に、身近にあるちょっとした疑問に興味をもち、課題を設定して解決しようとする「探究活動」ができるよう工夫されています。また、観察・実験の場面では考察を行う場面において考えるポイントが示されており、思考力を育成することができるよう配慮されています。

(3)学校図書です。本編の後半に「補充資料」という形で、基本操作・資料・計算問題・読解力強化問題・思考力問題がまとめられており、生徒が学習状況に合わせて問題演習を行うことができるように工夫されています。また、教科書の内容をWEBに再構成しており、ルビ振り対応や計6カ国語に切り替えることができるよう配慮されています。

(4)教育出版です。基礎的な知識等の確実な習得ができるように、単元末において「要点と重要語句の整理」・「基本問題」が掲載されていたり、発展的な内容として「活用問題」が位置付けられていたりすることで、生徒が習得した知識を基に、自分の学習状況にあわせて理解を深めることができるよう工夫されています。

(5)啓林館です。「Action 活用してみよう」では、理科の知識や概念が日常生活の中でどのように活用されているかを説明していたり、単元末の「みんなで探Qクラブ」では、習得した知識や技能を活用して新たな疑問を探究する課題が提示されていたりと、知識の理解の質を高め、学びを深めることができるよう工夫されています。

次に、「推薦する教科用図書」について御説明いたします。

以上5社の教科用図書について調査研究を進めてきた結果、次にあげる2社を推薦いたします。

まず、推薦するのは、東京書籍の教科書です。推薦の主な理由3つ御説明いたします。

1つ目は、各単元に1か所程度「流れに沿ってじっくり探究」が設けられています。108ページをご覧ください。108ページには「問題発見」や「仮説」があり、109ページには「実験」、110ページからは「分析・解釈」、114ページには「活用」があります。このように探究のステップを細かく設定し探究のしかたを意識して学習することができます。「理科の見方・考え方」をどのように働かせて考察を行うのか考えることで、生徒の思考力、判断力、表現力等の育成を図ることができるよう工夫されています。

2つ目です。基本問題から活用型問題までスモールステップで学力向上ができるよう、工夫されています。64ページをご覧ください。各単元で学んだ用語を「学習内容の整理」で確認することができます。66ページをご覧ください。66ページでは「確かめ問題」で学習内容の確認を行うことができます。68ページをご覧ください。68ページの「活用問題」では、対話文から課題を読み取る問題を取り上げることで、学んだことを活用するという段階を踏み、学習内容の定着を図ることができるよう配慮されています。

最後に3つ目、キャリア教育への対応についてです。187ページをご覧ください。「社会につながる科学」や「お仕事図鑑」といったコラムが掲載され、様々な職業において理科の学習内容が生かされていることを知り、科学の有用性を実感することができるよう工夫されています。

次に推薦するのは、啓林館の教科書です。推薦の主な理由を3つ御説明いたします。

1つ目です。まず、1学年の見開き4ページをご覧ください。どの学年も共通して単元を通して「課題の把握」、「課題の追究」、「課題の解決」という探究的な学習過程が重視されています。生活の疑問から解決したい課題を把握し、自分で考えた仮説をもとに、観察、実験の計画を立てたり、結果を整理して分析・解釈したりすることで、思考力、判断力、表現力等の育成につながることができるよう工夫されています。また、52～53ページをご覧ください。学習の終わりに、

学びを広げるコラムとして「深めるラボ」、「部活ラボ」や学びをふり返る「Review ふり返ろう」、学びを活用する「Action 活用してみよう」などが設けられており、生きてはたらく知識の定着につながるよう配慮されています。

2つ目です。248 ページをご覧ください。単元の終わりには「学習のまとめ」があります。250 ページをご覧ください。250 ページには「力だめし」、256 ページには「学年末総合問題」、このようなものがあり、日常生活や実験、会話を扱っています。その際に、図や写真を効果的に活用したり、教科等横断的な問題を取り上げたりすることで、用語の確認や学習内容の振り返り、さらに既習概念を活用する力の向上を図ることができるよう配慮されています。

最後に3つ目です。262 ページをご覧ください。自然科学・科学技術の発展に貢献した科学者や技術者が紹介されており、探究する姿を学ぶことで、人間形成につながるように工夫されています。また、最後のページ、見開き 12～13 ページをご覧ください。全学年ともに最後のページには、将来、科学的な根拠に基づいてさまざまな問題を理解し、判断できるよう、理科で身につけた知識や科学的な視点をはたらかせて SDG s に触れる場面が多く設定されています。

以上のことから、順位を付けるとすれば、啓林館を推薦します。

以上で、理科の調査研究の結果報告を終わりにします。

会 長：ありがとうございました。それでは、ただ今の報告内容につきまして、委員の皆様方から御質問がありましたら、お願いしたいと思います。

会 長：よろしいでしょうか。

それでは、調査員の先生ありがとうございました。

会 長：次は協議に入りますが、傍聴人が入室いたします。

会 長：それでは、協議を始めます。先ほど、国語・書写、地理・歴史・公民・地図、数学、理科についての報告がありましたが、皆様方から御意見がありましたら、お願いしたいと思います。

委 員：各教科の先生方が、いろいろな観点で検討して、調査研究をして、何社もある教科書を見比べて、御苦労されたかなと感じました。各社の特徴をとらえたものを明確に出していただいて、私たちには気づかない良さも専門的な分野での御報告をいただきました。私としては、報告をしていただいたことを踏まえてのこの後の推薦の決議になったらいいなと思います。

会 長：ありがとうございました。その他、いかがでしょうか。

委 員：先ほど、調査研究の報告を聞かせていただきました。先生方、日頃の授業をしっかりと考えて、先生方の視点、生徒たちの視点、両方から調査研究された内容だったと思い、非常に説得力があったと思います。よって、調査員の推薦された教科書を選定するのでよろしいかと考えます。

会 長：ありがとうございました。その他の御意見等ありましたらお願いしたいと思います。

委 員：先ほど、先生方より調査報告いただき、大変だったと思いますが、ありがとうございます。
自分が子供のときに使っていた教科書に比べると、写真とか図とか多用されていたり、ポップな感じになっていたりして、とても興味の湧くような教科書が多いなと印象として感じました。中学生のときは、テストのために勉強するというのが一つあると思いますが、そこからまた興味をもって勉強していけるとさらに将来につながるかなというところで、どの教科書も興味を誘うような内容になっていて素晴らしいと感じました。細かいところはこの時間だけで話すのは難しいところはあるのですが、日頃教えていただいている先生たちが一番詳しいと思うので、先生方が選んだものを支持したいと感じます。

会 長：ありがとうございました。その他いかがでしょうか。

委 員：各教科書、膨大な数だったのですが、事前の法定展示にも行き、全てを読み込むことはできなかったのですが、いくつか目を通した中でそれぞれの教科書の良さがありました。手元の資料で見ますと、各校への調査の数字が出ています。例えば、一般の父兄にこういった教科書がいいかと出しますと、おそらくばらつくのではないかと考えていたのですが、この資料の中で各校の先生方が良いと思う教科書がある程度まとまっているところがやはり教育のプロという立場から、教科書を数多くの中からよく読み込んで選ばれていると思いました。そのあたり、ばらつきもないということももちろんありますし、プロの先生方が推薦される教科書を信じて、私もそれをお願いしたいと思います。

会 長：ありがとうございました。

それでは、次は議決となりますので、傍聴の皆様は、御移動をお願いいたします。

会 長：では、議決になります。はじめに国語について、本委員会としては「東京書籍」の教科用図書を選定し、次の候補として「光村図書」の教科用図書を選定、以上２社についての選定でよろしいでしょうか。

委 員：結構です。

会 長：続きまして書写について、本委員会としては「東京書籍」の教科用図書を選定し、次の候補として「光村図書」の教科用図書を選定、以上２社についての選定でよろしいでしょうか。

委 員：結構です。

会 長：続いて社会になりますが、まず地理について、本委員会としては「帝国書院」の教科用図書を

選定し、次の候補として「東京書籍」の教科用図書を選定、以上２社についての選定でよろしいでしょうか。

委員：結構です。

会長：歴史について、本委員会としては「育鵬社」の教科用図書を選定し、次の候補として「帝国書院」の教科用図書を選定、以上２社についての選定でよろしいでしょうか。

委員：結構です。

会長：公民について、本委員会としては「育鵬社」の教科用図書を選定し、次の候補として「日本文教出版」の教科用図書を選定、以上２社についての選定でよろしいでしょうか。

委員：結構です。

会長：地図について、本委員会としては「東京書籍」の教科用図書を選定し、次の候補として「帝国書院」の教科用図書を選定、以上２社についての選定でよろしいでしょうか。

委員：結構です。

会長：数学について、本委員会としては「新興出版社啓林館」の教科用図書を選定し、次の候補として「教育出版」の教科用図書を選定、以上２社についての選定でよろしいでしょうか。

委員：結構です。

会長：理科について、本委員会としては「新興出版社啓林館」の教科用図書を選定し、次の候補として「東京書籍」の教科用図書を選定、以上２社についての選定でよろしいでしょうか。

委員：結構です。

会長：では、ここで一旦休憩いたします。次は 11 時 15 分に再開いたします。

休憩

会長：再開いたします。まず、音楽についての報告です。調査員の先生の入室をお願いいたします。

会長：調査内容について、報告をお願いします。

調査員：中学校教科用図書「音楽科」の調査研究の結果を御報告いたします。よろしくお願いいたします。

「音楽科」は2社の教科書について、様々な観点をもとに詳しく調査研究を行いました。

まず、「各教科用図書の特徴」について御説明いたします。

(1)教育出版株式会社です。他の領域・分野との関連が記載されるなど見通しを持った学習ができ、ICTを活用した「学びリンク」による、生徒が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされています。学びリンクでは、動画・音声の資料に加え、ワークシートも掲載されているのが特徴です。

(2)株式会社教育芸術社です。各教材において、学習に必要な情報が明確に示されているため、生徒が主体的に学べるように工夫されています。また、1年生の教科書19ページや2・3上の教科書61ページの「学びのコンパス」のように、曲に対する自分の考えをもち、友達との意見交流を通して、表現や鑑賞の学習を深めることができるよう配慮されています。主体的・対話的で深い学びを実現することができることが考えられます。

次に、「推薦する教科用図書」について御説明いたします。以上2社の教科用図書について調査研究を進めてきた結果、次にあげる2社を推薦いたします。

まず、推薦するのは、教育出版株式会社の教科書です。推薦の主な理由を述べます。

1つ目です。1年生の教科書8～9ページをご覧ください。年間の学習内容と題材の目標や他の領域・分野との学習の関連が記載されています。3年生の30～31ページの創作では、活動の手順が分かりやすく提示され、学習の見通しが持って主体的に学習に取り組めるような工夫がなされています。また、学習内容が段階的・系統的に構成されているので、学年の発達段階に応じて学びが深められるよう配慮されています。

2つ目です。歌唱と鑑賞では、主体的・対話的で深い学びを導き出すための活動例「Active!」や「比べてみよう」が多数掲載されています。1年生の教科書16ページをご覧ください。2曲の楽曲の特徴を書き出し、表現の仕方を考え工夫する活動が載っています。どちらも考えたことを交流することで学びを深めることができます。

3つ目です。創作では、3年間の系統を持たせた題材設定となっており、生徒の興味関心をもって取り組めるような活動が提示されています。1年生では言葉と音楽の組み合わせ、2年生ではリズムの創作、3年生では1、2年生の学習内容を生かした創作活動が掲載されています。

次に推薦するのは、株式会社教育芸術社の教科書です。

1つ目です。義務教育9年間の系統性と一貫性が重視され、学習内容が配列されています。また、音楽科で身に付けられる資質・能力が明確であり、生徒が学習の見通しをもって学習に取り組んだり、自らの学びを振り返ったりすることができるよう掲載されています。1年生の教科書8ページのように、各教材を通してどのような音楽の力を身に付けられるのか、学習指導要領の音楽科の目標を達成するという観点から適切なものになっています。

1年生の教科書16ページや2・3上の教科書34～35ページでは、小学校の基礎的な学習内容を確認でき、小学校の学習を継続、反復、発展させながら、生徒の発達段階に沿って系統的に学べ

るように構成されています。

2つ目です。1年生の教科書 24～25 ページをご覧ください。各教材において、「学習目標」、「具体的な学習活動」、「音楽を形づくっている要素」などが設定され、音楽科における3つの資質・能力を確実に育成できるよう配慮されています。楽曲の紹介文や考えたいポイントも掲載されており、生徒が課題意識をもって、主体的に学習に取り組むことができるように工夫されています。キャラクターの吹き出しには、ヒントや説明が示されており、それらを活用することで、言語活動の充実を図ることができます。

3つ目です。創作では、具体的な手順が示されており、生徒が無理なく学習を進められるように工夫されています。また、二次元コードからアクセスできるデジタルコンテンツが充実しており、個別最適な学びや協働的な学びの実現のために配慮されています。1年生の教科書 20～21 ページをご覧ください。デジタルコンテンツは教科書紙面と同じ体裁になっており、作った旋律を簡単に再生することができます。自分の思いや意図が反映されているかを確認したり、作品を共有したりする際にも活用できます。生徒たちも意欲的に学習に臨めると考えられます。

以上のことから、順位を付けるとすれば、株式会社教育芸術社を推薦します。

続きまして、中学校教科用図書「音楽科（器楽）」の調査研究の結果を御報告いたします。よろしくお願いいたします。

「音楽科(器楽)」は2社の教科書について、様々な観点をもとに詳しく調査研究を行いました。

まず、「各教科用図書の特徴」について御説明いたします。

(1)教育出版株式会社です。多数の楽器について触れられています。写真や2次元コードが随所に掲載されていて、奏法や調弦法などが分かりやすくなっているので、無理なく実技に取り組むことができます。

(2)株式会社教育芸術社です。明確な観点のもと、幅広く変化に富んだ学習活動を行えるように多様な教材が用意されており、意欲的に取り組めるように配慮されています。時代を超えて親しまれている楽曲やアンサンブル曲が多数掲載されているため、器楽の学習に向かう意欲を高め、幅広い価値観を養うことができるよう工夫されています。

次に、「推薦する教科用図書」について御説明いたします。

以上2社の教科用図書について調査研究を進めてきた結果、次にあげる2社を推薦いたします。

まず、推薦するのは、教育出版株式会社の教科書です。推薦の主な理由を述べます。

1つ目です。題材の練習曲とまとめの曲が見開きで掲載されており、楽器の特徴を基に段階を踏んで創意工夫を生かした表現で演奏することができるよう配慮されています。12～13 ページをご覧ください。ここでは13 ページの家路がこの題材のまとめの曲として掲載されています。50～51 ページをご覧ください。このように2次元コードが随所にあり、「まなびリンク」では奏法や調弦法などを動画で確認することができ、学校のカリキュラムに応じて学べるよう配慮されています。

2つ目です。12～13 ページをご覧ください。楽譜の脇には新しく習う運指が記載されていて、振

り返りながら学習を行うことができます。また、題材のまとめの曲やオプション教材が掲載されるなど、主体的・協働的に取り組めるような配慮がされています。

3つ目です。箏では、縦譜の読み方や唱歌についても触れており、箏の名曲から親しみやすい曲まで掲載されています。47 ページには鑑賞で取り上げる「六段の調べ」を弾いてみる活動例も掲載されています。

次に推薦するのは、株式会社教育芸術社の教科書です。

1つ目です。生徒の興味・関心を広げる内容や楽曲が掲載されています。各楽器とも、楽器の音色や構造などを理解しながら、基礎的な技能の定着を図ることができるよう配慮されています。また、様々なアンサンブル活動を通して、協働しながら学習を進めることができる工夫がされています。教科書 72 ページのように、歌唱教材や鑑賞教材で扱われている作品を実際に楽器で演奏することで、「中学生の器楽」と「中学生の音楽」の連携が図れるように配慮されています。

2つ目です。36 ページをご覧ください。各楽器の学習では、姿勢や構え方などの基本的な演奏方法の説明が掲載されています。創意工夫を生かした音楽表現をするための演奏のポイントを確認することで、生徒が思いや意図を表すために必要な技能を身に付けることができるよう、配慮されています。アンサンブルが多数掲載されることで、学習した楽器の特徴を生かして発展的な器楽表現ができるよう配慮されています。

3つ目です。リコーダー、ギター及び箏、三味線、太鼓、篠笛、尺八の5種類の和楽器、打楽器が豊富な写真を用いて扱われており、生徒の主体性を引き出す工夫がなされています。41 ページをご覧ください。箏の学習では、色々な奏法を取り上げ、生徒の発達の段階を踏まえた難易度を選択することで、生徒の興味・関心を高めながら学習を進めることができるよう配慮されています。和楽器を活用した学習活動を通して、単なる楽器の学習ではなく、我が国の伝統的な音楽に親しみ、そのよさを味わえる好機であると考えます。

以上のことから、順位を付けるとすれば、株式会社教育芸術社を推薦します。

会 長：はい。ありがとうございました。ただいま報告いただきました内容につきまして、委員の皆様から質問がありましたら、お願いいたします。

会 長：よろしいでしょうか。では、調査員の先生ありがとうございました。

会 長：次は、美術についての報告です。調査員の先生の入室をお願いいたします。

会 長：調査内容について、報告をお願いします。

調査員：中学校教科用図書「美術科」の調査研究の結果を御報告いたします。よろしくお願いいたします。「美術科」は3社の教科書について、様々な観点をもとに詳しく調査研究を行いました。

最初に、「各教科用図書の特徴」について御説明いたします。

(1)開隆堂出版株式会社です。作品の部分を拡大した原寸サイズの写真を掲載することで、学年の特性を考慮して生徒が造形的な見方や感じ方を広げたり、深めたりする工夫がされています。また、生徒自身が制作の見通しを立てることができるよう配慮されています。幅広い様々な題材が掲示され、生徒が3年間を通じて美術を学習できるよう工夫されています。

(2)光村図書出版株式会社です。制作方法が異なる作品を比較掲載していることで、生徒が造形的な見方や感じ方を広げたり、深めたりする工夫がされています。また、生徒自らが幅広く造形的な視点をもてるように示されていることで、表現及び鑑賞の活動を通じて、3年間において知識理解の質を高めることができるよう配慮されています。

(3)日本文教出版株式会社です。多くの技法や制作の過程が掲載されており、生徒の意図に合った表現ができるように配慮されています。また、一題材に充てる時数についても、考慮されたり美術鑑賞を楽しむ手がかりが書かれたりと、3年間で学びを深めていく内容が分かりやすく説明されています。また、学習内容をどのように発展させて活動していったらよいかを、理解することができるように配慮されています。

次に、「推薦する教科用図書」について御説明いたします。

以上3社の教科用図書について調査研究を進めてきた結果、次にあげる2社を推薦いたします。まず、推薦するのは、光村図書出版株式会社の教科書です。推薦の主な理由を述べます。

1つ目は、見開きページで鑑賞と表現が見やすくレイアウトされていて、生徒の思考・判断力・表現力の育成に繋がる構成になっています。さらに、QRコードを読み込むことで、作者のインタビューを動画で見ることができます。（動画再生）また、生徒自身が見てみたい、作ってみたいと感じ、心の中に思い描けるような鑑賞作品が多数掲載されています。

2つ目です。全ての題材において、学習活動の目標が分かりやすく提示されています。また、主体的、対話的で深い学びの実現になるように配慮されています。特に日本の絵画を楽しむページでは、紙質を和紙に変えたり、五感を働かせて鑑賞できるような工夫がされたりしています。こちらの富嶽三十六景神奈川沖浪裏では、原寸大で描かれていると共にQRコードで視聴できるようになっているため、生徒の興味・関心が深まる工夫がされています。

3つ目は、「鑑賞」と「表現」の相互の関係を意識し、一つの題材の中で、表現及び鑑賞が一体的に扱われている構成になっていて、学習の流れが理解できるように工夫されています。特に表現については、具体的に視点の換え方を捉え直したり、様々な効果を写真で提示したりと、生徒に合った発想・構想の工夫が示されています。

4つ目です。教科書内の生徒作品の制作途中の写真に、吹き出しで制作者本人の気持ちなどが書かれていたり、作品を制作する上での着目すべきポイントなどが書かれていたりしていることで、生徒が制作過程を大切にしながら作品作りができるような工夫がされています。

次に推薦するのは、日本文教出版株式会社の教科書です。

1つ目は、こちらをご覧ください。生徒自らが自分の意図に合った表現ができるように「表現のヒント」に発想や構想を練るためのポイントや写真が多数掲載されているため、制作意欲の手助けになると考えられます。また、掲載されている作品が紙面上に魅力的に構成されていて、

学ぶ意欲が高められるような工夫がなされています。

2つ目です。3分冊の構成になっており、各学年の発達の段階を考慮して、より充実した学習が展開できるように工夫されています。こちらをご覧ください。各題材で扱われている作品や情景写真は多種多様であり、表紙裏表紙共に作品が一体化していたり、掲載されている作品一つ一つが見やすいサイズに構成されていたりと工夫されています。特に見開きのページは圧巻です。これらのことから、興味・関心を十分に深められるよう工夫されていると言えます。

3つ目は、表紙と巻頭の一体型で、1年では「美術の見方や考え方」、2・3年上では「様々な表現方法」、2・3年下では「美術の意味や社会とのつながり」について考え学ぶことができます。また、3年間の学びを1年の教科書で表現と鑑賞の学び方が視覚的に分かりやすく書かれています。「特別の教科 道徳」と関連するページも多くあり、内容項目に対応した文章を示すことで、生徒の意識を促しながら関連を図った学習ができるように配慮されています。

4つ目です。作品をできるだけ大きく掲載したり、QRコードで作品をより細かく観ることができたりと、実際の作品を鑑賞することが難しいものでも、じっくり鑑賞することができるように工夫されています。また原寸大作品を掲載できるようA4ワイド版型が採用されています。実際の図版を折って、立てて「屏風」鑑賞できるよう厚紙が使用されていたり、鑑賞作品が、より原画に近い色味になるような工夫がされていたりと、実際なかなか本物を鑑賞することができない生徒が、個性を生かし、主体的に学ぶ力を育成するためにふさわしい内容になるよう工夫されています。

以上のことから、順位を付けるとすれば、日本文教出版株式会社を推薦します。

会 長：はい。ありがとうございました。それでは、ただいま報告いただきました内容について、委員の皆様からご質問があればお願いいたします。

会 長：よろしいでしょうか。それでは、調査員の先生ありがとうございました。

会 長：では次は、保体についての報告です。調査員の先生の入室をお願いいたします。

会 長：調査内容について、報告をお願いします。

調査員：中学校教科用図書「保健体育科」の調査研究の結果を御報告いたします。よろしくお願いいたします。「保健体育科」は4社の教科書について、様々な観点をもとに詳しく調査研究を行いました。

まずは、「各教科用図書の特徴」について御説明いたします。

(1)東京書籍です。各単元において学習の流れが明確となっており、主体的に学びを深めることができるよう配慮された構成となっています。視線の流れに配慮したり、二次元コードの配置を統一したりすることで、見やすく、使いやすい紙面構成となるよう工夫されています。また、紙面を補完するQRコンテンツが豊富に用意されており、生徒の理解度を高めながら学びを深め

ることができるよう工夫されています。

(2)大日本図書です。学習内容の要素が点在することなく、本文と資料が左ページと右ページに分けて示されています。資料から考察・推測する活動を行い、その後本文で知識の習得を図るなど、授業展開の仕方に幅をもたせられるような紙面構成となっています。また、小中高の学びのつながりが分かりやすく示されているだけでなく、他教科とのつながりを示すことによって、教科横断的な視点からも、学んだ知識が様々な場面から生かされるよう工夫されています。

(3)大修館です。3つの資質・能力をバランスよく習得できるよう、学習内容が「つかむ」、「身につける・考える」、「まとめる・振り返る」の3段階で構成されています。また、急速に変化する社会の中で中学生が直面する今日的な課題、共生社会や多様性に関すること等、がコラムや特集資料として数多く取り上げられており、「生きる力」の育成を図ることのできる構成となっています。デジタル教材も充実しており、ICT 機器を効果的に活用しながら学びを深めることができるよう工夫されています。

(4)株式会社学研ホールディングスです。各項目に「課題の発見」、「学習の課題」、「課題の解決」と、課題解決的な学習の進め方を目指して主体的に学べるよう配慮されています。学習の最後には、「学びの活用」という実践的な課題に取り組むことができる構成になっています。また、学びを支えるデジタルコンテンツが豊富に掲載されており、既習内容や関連する内容などを組み合わせながら、生徒が主体的に学ぶことができるよう工夫されています。

続いて、「推薦する教科用図書」について御説明いたします。以上4社の教科用図書について調査研究を進めてきた結果、次にあげる2社を推薦いたします。

まず、推薦するのは、東京書籍の教科書です。推薦の主な理由を3点述べます。

1点目です。30～31ページをご覧ください。各単元において、「見つける」、「学習課題」、「課題の解決」、「広げる」というステップが学習の流れに沿って配置されており、生徒が主体的・対話的な学びができるような紙面構成になっています。また、「活用する」では、習得した知識・技能を活用してさらに思考を深めることができます。

2点目です。71ページをご覧ください。右下にある二次元コードを読み込むことで、その単元で学習する内容の動画教材を活用することができます。実際に3つの動画をご覧ください。(動画再生)この単元では、具体的な交通事故の場面を例に、事故の人的要因と環境要因について考える場面になっています。教科書と同じ状況の事故を動画内の3つの視点から再現することで、紙面だけではイメージしづらい状況を学ぶことができます。

3点目です。177ページをご覧ください。こちらには、学習した内容を活用するためのデジタルコンテンツが多く掲載されています。自身の命や健康を守っていくために、学習した内容と関連させながら生涯にわたって役に立つ「生きる力」を身につけることができます。

次に推薦するのは、大修館の教科書です。推薦の主な理由を述べます。

1点目です。102～103ページをご覧ください。各単元の「課題をつかむ」「学習のまとめ」では、生徒同士で話し合ったり考えたりする課題が設定されています。言語活動の充実を図りながら、対話的な活動を通して生徒の学習意欲を高め、深い学びを実現させることができる構成

となっています。

2点目です。116～117 ページをご覧ください。この單元では、心肺蘇生法の手順を紙面で学ぶだけでなく、実際に動画を活用しながら学びを深めることができます。心肺蘇生の様子を動画で確認することによって、ポイント等をおさえながら胸骨圧迫の方法や AED の使い方の手順を分かりやすく学ぶことができます。実際に動画をご覧ください。（動画再生）

また、各単元のページ右下にある「保体クイズにトライ！」では、その単元で学習した内容を確認する問題が用意されており、知識の定着を図ることができるようになっています。

3点目です。30 ページをご覧ください。各章の学習内容が記載されているとびらでは、章の内容に関わる問いが掲載されています。この問いは、学習指導要領に記載されている内容に沿ったものとなっており、これから学ぶ内容について分かりやすく理解することができます。また、その章の学習内容と関連のある小学校での既習内容、あるいは高校で予定されている内容が明示されています。小中高の関連を図って、系統性のある指導ができるように工夫されています。最後に、2社を比較した際、紙面デザインの見やすさやデジタル教材を含めた資料の豊富さ、学んだ内容を確認するための章末問題等、「どちらの方が生徒のより深い学びを実現させることができるか」という観点で選定させていただきました。

以上のことから、順位を付けるとすれば、大修館を推薦します。

会 長：はい。ありがとうございました。ただいま報告いただいた内容について、委員の皆様から質問がありましたらお願いいたします。

会 長：よろしいですか。では、調査員の先生ありがとうございました。

会 長：次は協議ですので、傍聴人が入室いたします。

会 長：それでは協議を始めます。先ほど説明がありました、音楽、美術、保体について、皆様から御意見がありましたらお願いいたします。

委 員：二次元コード、QR コードが豊富に入ってきているのだということを感じました。やはり、美術や音楽は、動画など、実際のものが見られたり、制作者の意図が聞けたり、教科書の紙だけでは無い教育が進んでいるのだなと感じました。

会 長：はい。ありがとうございます。そのほかいかがでしょうか。

委 員：調査内容を聞かせていただき、現場の先生方の感覚で非常によく丁寧に調査をしていることが感じられました。生徒が学ぶ上でよく考えられた調査でしたので、大変納得いたしました。

会 長：はい。ありがとうございます。そのほかいかがでしょうか。

委員：先ほど別の委員の方からもありましたが、各教科とも QR コードが多用されていて、一昔前は、こんなに多くなかったかなと思うので、とても時代に即した、非常に子供たちが興味をそそられたり、感じ取れる部分が多い内容となっていると感じます。美術の教科書については、漫画から入るデザインの仕方とか、パッケージのデザインとか、大人が見ても興味を持つような内容があって、このように、入り口がいろいろなところからでとてもいいと思います。子供たちが興味を持ちそうな教科書で非常に良いなと思いました。

会長：はい。ありがとうございます。そのほかいかがでしょうか。

会長：はい。ありがとうございました。それでは、次は議決となりますので、傍聴の皆様は、御移動をお願いいたします。

会長：では、議決です。音楽一般について、本委員会としては「教育芸術社」の教科用図書を選定し、次の候補として「教育出版」の教科用図書を選定、以上２社についての選定でよろしいでしょうか。

委員：結構です。

会長：音楽器楽合奏について、本委員会としては「教育芸術社」の教科用図書を選定し、次の候補として「教育出版」の教科用図書を選定、以上２社についての選定でよろしいでしょうか。

委員：結構です。

会長：美術について、本委員会としては「日本文教出版」の教科用図書を選定し、次の候補として「光村図書」の教科用図書を選定、以上２社についての選定でよろしいでしょうか。

委員：結構です。

会長：保健体育について、本委員会としては「大修館」の教科用図書を選定し、次の候補として「東京書籍」の教科用図書を選定、以上２社についての選定でよろしいでしょうか。

委員：結構です。

会長：では、ここで昼食休憩といたします。午後は、13時5分からの再開といたします。
大変ありがとうございました。

昼 食 休 憩

会 長：再開いたします。まず、技術についての報告です。調査員の先生の入室をお願いいたします。

会 長：調査内容について、報告をお願いします。

調査員：中学校教科用図書「技術科」の調査研究の結果を御報告いたします。よろしくお願いいたします。
「技術科」は3社の教科書について、様々な観点をもとに詳しく調査研究を行いました。

まず一つ目、「各教科用図書の特徴」について御説明いたします。

(1)東京書籍です。問題解決を発達段階に応じて進めることができるよう、「最適化の窓」をガイダンスに設置し、技術の見方・考え方を働かせながら、主体的・対話的で深い学びが実現できるよう工夫されています。また 400 を超える豊富な二次元バーコードのコンテンツがあり、Society5.0 時代の新しい授業づくりに適切な教科書になっていると考えます。

(2)教育図書です。主体的・対話的で深い学びが実現できるよう豊富な資料や題材例が掲載されています。また学習内容が系統的に提示されており、理解や習得が図れる工夫もされています。

(3)開隆堂です。技術が生活や社会の様々なところにあるということに気付かせ、社会の諸問題を技術で解決する方法を考えられるよう工夫されています。また学習のポイントがわかりやすいように、多彩なマークを用いて示す工夫がされているのも特徴のひとつです。

続きまして、「推薦する教科用図書」について御説明いたします。以上3社の教科用図書について調査研究を進めてきた結果、次にあげる2社を推薦いたします。

まず推薦するのは、東京書籍の教科書です。推薦の主な理由を述べます。

1 つ目に、16～19 ページをご覧ください。こちらは技術分野のガイダンスを行う際に、技術の見方・考え方を働かせて問題解決学習に取り組むための方法が掲載されています。1 年生にはもちろん、2、3 年生にも、話し合い活動の進め方を確認することができるので、技術を最適化するためにどのような折り合いがつけられるかを考えながら、主体的・対話的で深い学びの実現ができるよう工夫されています。

2 つ目といたしまして、豊富な資料や問題解決例、他教科との関連により、指導計画や実態に合わせて学習を深めたり、広げたりすることができるよう工夫されています。55 ページをご覧ください。ここでは飲料容器の問題解決例が掲載されており、中学生にとって身近な問題を取り扱うことで主体的に取り組みやすいよう配慮されています。72～77 ページをご覧ください。このように、自ら課題を設定し、これまでに学習した知識を生かしながら解決していく例が掲載されています。指導計画や実態に合わせて学習を深めたり、広げたりすることができるように工夫されています。

3 つ目です。二次元バーコードのコンテンツには、基礎技能に関わる動画やワークシート例、話し合い活動の場面でも活用できる資料等が充実しています。見開きで右側のページの右上に二次元バーコードが掲載されており、コンテンツ数としては 400 を超える動画や資料等が閲覧したり活用したりすることができます。これは ICT 教育の充実を図っている本市の実態とも合っていると考えます。

次に推薦するのは、開隆堂の教科書です。

1つ目です。こちらの教科書にも多くのページに二次元バーコードが掲載されています。その中のワークシート等のコンテンツを活用することで、技術の見方・考え方を働かせながら学習に取り組めるような工夫がされています。9ページをご覧ください。このページの二次元バーコードでは、「本日の学習課題」や「スプーンやフォークができるまで」、「生分解性プラスチックの説明動画」や「ワークシート」などが準備されており、ICTを活用した学習に適しているとともに、主体的・対話的で深い学びの実現も図れます。

2つ目です。62～73ページをご覧ください。実践的・体験的な学習活動を通して、自らが問題を見出して、課題を解決する力を身に付けるための工夫として、様々な実習例が掲載されています。最初の62ページがマルチラック、次がタブレットスタンド、踏み台など、様々な実習例が掲載されています。基本となる実習から参考・応用的な実習まで、幅広く紹介されており、生徒が関心と意欲をもって活動しやすい配慮がされています。

以上のことから、順位を付けるとすれば、東京書籍を推薦します。

会 長：報告いただきました内容について、委員の皆様から質問がありましたらお願いいたします。

委 員：東京書籍の教科書で、400を超える2次元バーコードが載っていて、動画コンテンツがあるというお話でした。1ページに1個くらいありそうですね。中身としては、動画が多いのか、資料のような内容が多いのか、どのような割合になっていますか。

調査員：バランスよく入っているように思います。ワークシートも必ず付いていて、あとは、参考動画やシュミレーションのようなものも入って、画像や動画を観ながら学習できるようになっています。

委 員：そうですか。ありがとうございます。

会 長：それでは、調査員の先生ありがとうございました。

会 長：次は、家庭科についての報告です。調査員の先生の入室をお願いいたします。

会 長：調査内容について、報告をお願いします。

調査員：中学校教科用図書「家庭科」の調査研究の結果を御報告いたします。よろしくお願いいたします。
「家庭科」は3社の教科書について、様々な観点をもとに詳しく調査研究を行いました。

まずは、「各教科用図書の特徴」について御説明いたします。

(1)東京書籍です。文章を読むことが苦手な生徒や紙面だけでは理解しづらい生徒、家庭分野の指

導に慣れていない先生など、誰にとっても分かりやすく使いやすい構成になっています。生徒の理解を助け、学習意欲の向上や授業作りに役立つ QR コンテンツが充実しています。

(2)教育図書です。問題解決的に知識・技能を身につけさせるための4ステップで構成されています。身の周りの生活を「見つめる」ことで「なぜ」「どうして」などの疑問をもたせ、「見つめてみよう」で自分ごととして考えさせ、「学ぶ」で知識や技能を学び、「ふり返る」で学習を自己評価する、という流れで授業が進むように構成されています。

(3)開隆堂です。生活の自立に向けた「主体的・対話的・深い学び」の視点に立った題材構成となっています。実習製作や活動の例が豊富に掲載されており、生徒の興味・関心や学校・地域の実情に応じて選択することができます。

続いて、「推薦する教科用図書」について御説明いたします。以上3社の教科用図書について調査研究を進めてきた結果、次にあげる2社を推薦いたします。

まず推薦するのは、東京書籍の教科書です。推薦の主な理由を述べます。

1つ目、学習内容が項目順ではなく、那須地区の年間指導計画に近い順番で掲載されています。大田原市では家庭科を専門としている教員は2名しかおらず、多くの中学校で他教科の教員が臨時的に教えているのが現状です。そのため1ページをご覧ください。目次になりますが、家庭科で学習する内容が項目順に並んでいるのではなく、那須地区の年間計画のもとで行う授業の順番に近い形で掲載されています。ですので、教える側にとっても使いやすい目次の構成になっています。さらに、30ページをご覧ください。見開き1ページが「目標」「学習課題」「本文、図版」「活動」「まとめの活動」の流れで統一され、授業の流れが見えることで、生徒にとっても見やすく分かりやすく、教員が指導しやすい構成になっています。

2つ目です。4ページをご覧ください。デジタルコンテンツが充実しています。基礎技能や実験の動画、シミュレーション、クイズ、資料、図鑑など、授業中だけでなく、予習・復習などいろいろな場面で活用できます。献立作成では、自動で計算したりグラフ化したりするなど、目に見えにくい栄養バランスを可視化できる便利なコンテンツもあります。

3つ目です。84ページをご覧ください。家庭科といえば生徒たちの一番の楽しみは調理実習です。様々な食物アレルギーを持つ子供たちが増えているのが現状です。調理実習を安全に行うため、食物アレルギーの原因物質にこのような注意喚起マークをつけて注意喚起を促すなど、食物アレルギーへの対応が配慮されています。安全に調理実習が行えるような工夫がされています。

次に推薦するのは、開隆堂の教科書です。

1つ目、話し合い活動や思考する活動、意見を述べる活動など様々な言語活動ができるように設定されています。47ページをご覧ください。「やってみよう」というコーナーでは、幼児に起こりうる場面を想定したロールプレイングが行えるように工夫されています。さらに、51ページをご覧ください。「話し合ってみよう」では、幼児と出かける際の注意点についてより具体的に、子どもたちが想像しやすいようにテーマが設定されています。

2つ目です。実習製作や活動の例が豊富です。63ページをご覧ください。幼児とのふれあい体験について、5つの例が示されています。調理実習について、128ページからをご覧ください。肉

の料理例が6品、魚の料理例が5品、野菜の調理例が4品、幼児のおやつが6品掲載されています。豊富な実践例の中から、生徒の興味・関心、学校や地域の実情に応じて選択することができます。

3つ目です。248ページをご覧ください。防災について特設ページを設け、日常的な備えの重要性などについて8ページにわたって記述しています。「生活といのち」を守るための取り組みや対策について理解を深める配慮がされています。より具体的な内容が掲載されています。

以上のことから、順位を付けるとすれば、東京書籍 を推薦します。

会 長：はい。ありがとうございました。では、報告いただきました内容について、委員の皆様から質問があればお願いいたします。

委 員：いずれの教科書も大変すばらしいものだと感じました。とくに東京書籍を選んだ理由を簡単に教えてください。

調査員：やはり、家庭科教員が少ない現状を考えたときに、家庭科を専門に学んでいなくても、授業が進めやすいかという点で考えたときに、東京書籍の方が、親切なつくりになっているなど感じましたので、東京書籍を選びました。

委 員：わかりやすい説明ありがとうございました。納得した部分がたくさんありました。教科書を選ぶ段階で、先生方が使いやすいという点で選ぶことはあるのですか。

調査員：我々は家庭科を学んできたので、どんな教科書でも授業を進められるという自信はあります。ただ、臨時的に家庭科の授業を担当する方から、「どのように進めればよいのですか」「ワークシートはどのようなものを使っていますか」といった質問をされることが多いです。先生方が教えやすい教科書であれば、子供たちにとってもより良い学びになると感じています。

会 長：そのほかいかがでしょうか。では、調査員の先生ありがとうございました。

会 長：次は、英語についての報告です。調査員の先生の入室をお願いいたします。

会 長：調査内容について、報告をお願いします。

調査員：中学校教科用図書「英語科」の調査研究の結果を御報告いたします。よろしくお願いいたします。
「英語科」は6社の教科書について、様々な観点をもとに詳しく調査研究を行いました。

まず、「各教科用図書の特徴」について御説明いたします。

1社目です。東京書籍株式会社です。小学校と中学校のつながりを意識した Can-Do リストが掲載されており、生徒自身が到達度を確認し、目標に向けて自己調整学習ができるように構成されて

います。

2社目です。開隆堂出版株式会社です。3年間を通して、リテリング活動に重点をおいており、教科書の内容を自分の力で誰かに伝える活動を通して、内容理解を深めたり表現力を高めたりすることができるよう配慮されています。

3社目です。株式会社三省堂です。各単元が、段階的に学習を進めることができるよう構成されています。また、自分の思いや考えを伝える場面が複数箇所に取り上げられており、表現力を養うことができるよう工夫されています。

4社目です。教育出版株式会社です。単元末に内容を確認する様々な形式の問題があり、生徒が多様な問題形式に慣れることができるよう工夫されています。

5社目です。光村図書出版株式会社です。身近で魅力的なストーリーが教科書全体を通して設定されており、登場人物同士の日常生活のリアルなやりとりを通して、生徒が意欲的に英語学習に取り組めるよう工夫されています。

6社目です。株式会社新興出版社啓林館です。小学校から中学校1年生への接続期に、小学校での学びを振り返り、小学校で慣れ親しんだ音声から、文字の定着へとスムーズにつなげることができるよう工夫されています。

次に、「推薦する教科用図書」について御説明いたします。以上6社の教科用図書について調査研究を進めてきた結果、次にあげる2社を推薦いたします。

まず、推薦するのは、株式会社三省堂の教科書です。推薦の主な理由を述べます。

1つ目は、各「Lesson」が音声導入から内容理解へと進み、最終的に技能統合型のアクティビティへと、段階的に学習を深めることができるよう配慮されています。1年生の117ページをご覧ください。この単元では、最初に防災用品の写真を使って教師と生徒、または生徒同士が音声でやりとりする活動を通して、テーマに興味を持たせることができるよう工夫されています。118ページをご覧ください。Part 1ではリスニングやスピーキングの音声での学習から始まり、そこからリーディングの内容理解へとつながっています。122ページをご覧ください。ここでは、単元末に非常食について書かれたコラムを読み、最後に自分の考えや意見を伝えるという技能統合型の活動が設定されています。

2つ目は、フードロス、防災、キャリア教育、環境問題、平和教育、人権問題など、英語を通して身近にある問題について考えることができるよう配慮されています。こちらの単元でも非常食がテーマになっており、英語の知識や技能だけでなく、様々な問題について自分の考えを深めることができるよう構成されています。

次に推薦するのは、光村図書出版株式会社の教科書です。推薦の主な理由を述べます。

1つ目は、英語でやりとりをするための教材が充実しており、それらを帯活動として継続的に活用することで、即興で話す力を育成し、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養うことができるよう工夫されています。1年生の144ページと145ページの間にある教材「Let's Talk」をご覧ください。ここでは3年間を通して、様々なトピックが設定されており、継続的に友達と英語でやりとりをすることができるようになっています。また、教材の下にはコミュニケ

ーションに便利な様々な表現が記載されており、生徒たちがやりとりをする際に参考にすることができるようになっています。

2つ目は、魅力的なストーリーが設定されており、身近な日常の場面や状況の中で描かれている4人の中学生のストーリーを通して、生徒が興味を持って英語の学習に取り組むことができるよう工夫されています。1年生の84ページをご覧ください。ここでは登場人物のTinaが寝ている場面を家族が心配して見ているという状況から始まっています。なぜこのような状況なのかを生徒が予想することからレッスンが始まり、その後、学習を進めていくことでその理由が分かるような構成になっています。90ページをご覧ください。ここでは物語に関するExtra StoryをQRコードで見ることができるようになっています。

3つ目は、デジタル教科書では、本文を静止画のスライド形式だけでなく、実写ドラマ形式でも見ることができ、生徒の興味・関心を高める工夫がされています。2年生の96ページをご覧ください。ここではあるイベントで演劇をすることになった登場人物が互いに意見を主張し合っている場面です。実際にスクリーンの映像をご覧ください。（動画再生）このように、スライドではなく、実写のムービーを生徒が見ることで、紙面だけでは分からない、よりリアルな登場人物像や英語の使用場面を理解することができます。

以上のことから、順位を付けるとすれば、光村図書出版株式会社を推薦します。

会 長：ありがとうございました。それでは、ただいま報告いただきました内容について、委員の皆様から質問がありましたらお願いします。

委 員：光村図書出版を推薦した最大のポイントはどのような点ですか。

調査員：一番のポイントはストーリーです。光村図書の教科書は、子供たちの興味をひくもので、この先どういう展開が待っているのだろうというワクワク感があるストーリーに設定されています。中学生4人ということで、子どもたちにとって身近なこととしてあるよね、といったようなストーリーが中心に描かれています。他社ではなかなかそこまでのものは見られず、その点が光村図書を選んだポイントです。

会 長：そのほかいかがでしょうか。

会 長：では、調査員の先生ありがとうございました。

会 長：次は、道徳についての報告です。調査員の先生の入室をお願いいたします。

会 長：調査内容について、報告をお願いします。

調査員：中学校教科用図書「道徳科」の調査研究の結果を御報告いたします。よろしくお願いいたします。
「道徳科」は7社の教科書について、様々な観点をもとに詳しく調査研究を行いました。

はじめに「各教科用図書の特徴」について御説明いたします。

1社目は、東京書籍です。全学年で、話し合いの手順やルールが示されており、生徒が学びを深めることができるよう工夫されています。また、生徒が主体的に学ぶことができるよう、教材の内容に関する資料が掲載されています。

2社目は、教育出版です。内容項目が発達段階に応じて設定されており、各教材に「導入」と「学びの道しるべ」が設けられていることで、生徒が考えの変容を実感してより深い学びになるように構成されています。

3社目は、光村図書です。学校生活の実態と生徒の成長を踏まえてユニットが構成されています。生命尊重に関する教材が多く扱われており、重点化が図られています。

4社目は、日本文教出版です。別冊道徳ノートが充実しています。生徒が自らの考えの変容を確認することができ、深い学びに繋げることができるよう工夫されています。

5社目は、学研です。全学年に3つのユニット学習の項目が設けられており、広い視野をもって多面的・多角的に考えを深めることができるよう配慮されています。

6社目は、あかつきです。思考を深める流れとねらいに迫る発問が設定されています。また、現代的課題に向き合うテーマでユニットが構成されており、継続して学びを広げ、深められる構成になっています。

7社目は、日本教科書です。ウェルビーイングカードが導入されており、自分自身や周囲の人々のウェルビーイングを尊重することができるよう工夫されています。また、多面的・多角的な見方考え方ができるよう配慮されています。

次に「推薦する教科用図書」について御説明いたします。以上7社の教科用図書について調査研究を進めてきた結果、次にあげる2社を推薦いたします。

まず、推薦するのは、日本文教出版の教科書です。推薦の主な理由を述べます。

1点目です。学習指導要領の趣旨に即し、学年の発達段階に合わせて内容項目の4つの視点が適切に取り扱われています。

2点目です。一つの教材の中で異なる立場で考えられたり、適切な時期に指導できたりするよう、教材の配置が工夫されています。

3点目です。地域に根差した教材が豊富で、栃木県に関する教材も含まれています。

4点目です。1年生2～3ページのもくじをご覧ください。「いじめと向き合う」というユニットが設定されており、多様な視点から学べるようにテーマの一部を基に複数の教材とコラムが組み合わされています。このような構成にすることで、いじめ防止の内容を系統的に扱うことができるよう工夫されています。

5点目です。生徒による話し合い活動がスムーズに展開できる構成になっています。

6点目です。1年生42～47ページをご覧ください。写真が効果的に活用されており、内容も生徒が興味をもちやすいものを扱っています。アーティストの実際の作品や、制作工程を載せることで、より作品についての理解を深められるよう工夫されています。これにより、生徒は主体的に読みたいという気持ちをもつことができ、深い学びにつながりやすくなると考えます。

次に推薦するのは、日本教科書の教科書です。

1 点目です。学習指導要領の趣旨に即し、学年の発達段階に合わせて内容項目の4つの視点が適切に取り扱われています。

2 点目です。2 年生 77 ページをご覧ください。このように性同一性障害を抱える高校生の実話や先人・著名人の生き方から学ぶ人物教材、地域教材など、多様な教材が多く取り上げられています。生徒たちにとって身近な話題が多く、共感したり、自分事として考えやすかったりする教材となっています。

3 点目です。1 年生 17 ページをご覧ください。ここには「③日常生活のモヤモヤ」という教材が掲載されています。その右側についているカードが重なっているようなマークにお気づきのことと思います。これを「ウェルビーイングカードマーク」と呼びます。巻末付録をご覧ください。これが「ウェルビーイングカード」です。このカードを対話や意見交換の場面で活用することにより、生徒の意見が引き出されやすくなり、多面的・多角的な見方や考え方ができるよう工夫されています。

4 点目です。「考えよう・深めよう」というコーナーに発問が設定されています。それにより、見方や考え方が変わったり、深まったりしたことを生徒が実感できるよう工夫されています。

5 点目です。全学年にわたりいじめの問題を直接的にあるいは間接的に扱った教材が掲載されており、いじめ防止の内容を系統的に扱うことができるよう工夫されています。1 年生 82～83 ページ、2 年生 152～155 ページ、3 年生 75～78 ページをご覧ください。このように、いじめにつながる問題を多面的・多角的に考えることができるよう配慮されています。

6 点目です。読み物資料の分量が適切で、一単位時間で扱いやすい資料に構成されています。以上のことから、豊かな心と創造力を育み、社会の変化に主体的に対応し学ぶことのできる生徒を育成する、市の教育方針に概ね合致する内容構成になっています。以上のことから、順位を付けるとすれば、日本教科書を推薦します。

会 長：はい。ありがとうございました。ただいま報告いただきました内容について、委員の皆様から質問をお受けしたいと思います。何かありましたらお願いいたします。

委 員：報告ありがとうございました。中学生は多感な時期で、道徳の授業は非常に重要だと思います。今は多様性の時代と言われる中、正解が一つではない道徳の教科書を選ぶのは大変かと思います。そこで、教科書を選ぶにあたって、こういったところを重要視してこの教科書を選んだのか教えてください。

調査員：どの教科書も子供たちの考えを深める工夫はされていますが、教科書によっては、教材文が長くて、1 時間の中で考えが深められなそうなものもあったり、自分の身近でないちょっとかけ離れたものであったりというものもあります。日本教科書は、とくに、考えるツールの「ウェルビーイングカード」が、自分の考えを一つに絞るのではなく様々な視点から物事を見て考えるという点で、とても効果のあるものだと考え、この教科書を選びました。

会 長：そのほかいかがでしょうか。よろしいですか。では、調査員の先生ありがとうございました。

会 長：次は協議ですので、傍聴人が入室いたします。

会 長：協議を始めます。先ほど説明がありました、技術、家庭、英語、道徳について、委員の皆様から御意見がありましたらお願いいたします。

委 員：教科書の特徴が端的に示され、大変分かりやすい報告でした。とくに、本市の教育方針や生徒の実態を十分に踏まえていた内容だったと感じておりますので、調査員から報告のあった教科書を選定することでよいかと思います。

会 長：はい。ありがとうございました。そのほかいかがでしょうか。

委 員：すべての教科書、大変重要だと思いますが、個人的には、英語の教科書がとても気になります。私自身、中高と英語をたくさん学んできたにもかかわらず、一切しゃべれない、一切聞き取れない、そういう状況です。なぜなのかと考えてみると、やはり、聞き取れないからだと思います。ネイティブの方と話をする時に、こちらから伝えたい意見は、時間をかければ伝わりますし、聞いてもくれます。ただし、返ってくる言葉については、まったく理解できません。そういったことから考えると、聞く力が大切なのだと思います。そうすると、ドラマ仕立てで子どもたちの興味を引いて、耳から目から入ってくることで学べる良い教科書なのだと率直に感じました。

会 長：はい。ありがとうございました。そのほかいかがでしょうか。

会 長：では、次は議決となりますので、傍聴の皆様は、御移動をお願いいたします。

会 長：では、議決です。技術について、本委員会としては「東京書籍」の教科用図書を選定し、次の候補として「開隆堂」の教科用図書を選定、以上２社についての選定でよろしいでしょうか。

委 員：結構です。

会 長：家庭について、本委員会としては「東京書籍」の教科用図書を選定し、次の候補として「開隆堂」の教科用図書を選定、以上２社についての選定でよろしいでしょうか。

委 員：結構です。

会 長：英語について、本委員会としては「光村図書」の教科用図書を選定し、次の候補として「三省堂」の教科用図書を選定、以上２社についての選定でよろしいでしょうか。

委 員：結構です。

会 長：道徳について、本委員会としては「日本教科書」の教科用図書を選定し、次の候補として「日本
文教出版」の教科用図書を選定、以上2社についての選定でよろしいでしょうか。

委 員：結構です。

会 長：では、ここで休憩いたします。14 時 15 分からの再開いたします。

休 憩

会 長：再開いたします。まず、小学校特別支援学級についての報告です。調査員の先生の入室をお願い
いたします。

会 長：調査内容について、報告をお願いします。

調査員：令和7年度使用小学校特別支援学級用教科用図書につきまして、調査結果を報告いたします。
要項の3～4ページの「令和7年度使用小学校特別支援学級用教科用図書一覧表」の一般図書と
ある枠内をご覧ください。全部で35冊について調査研究いたしました。
今回の調査では、今まで使用していた図書3冊について変更いたしました。新たに取り入れた図
書には、◇印がついています。「地図」で1冊、「保健」で1冊、「外国語」で1冊です。変更
のなかったものについては、説明を省かせていただき、新しく取り入れた図書3冊について御説
明いたします。
始めに、地図の◇印、くもん出版「さがして見つけて日本一周！にほんちずえほん」です。
本書は、日本を8つの地方に分けて構成されており、内容が見開き2ページにまとめられていま
す。文章や地名は、すべて平仮名で表記されており、児童の発達段階に即したものとなっています。
12～13ページをご覧ください。都道府県ごとの地名や特産物などが、イラストを使って取り
上げられております。情報量や色彩なども適切で、親しみやすい挿絵となっています。また、ク
イズ形式で表記されているところもあり、児童の興味関心を高められる内容になっています。
次に、保健で取り入れた、学研プラス「あそびのおうさまずかん からだ 増補改訂」です。本書
は、人の体のつくりや働きについて、分かりやすく説明されており、児童の日常生活に結びつく
内容が取り上げられています。文章はすべて平仮名表記で、児童の発達段階に即した情報量、易
しい表現となっています。17ページをご覧ください。体全身の大きな絵を使って、部位の名称や
その役目、仕組みについて簡潔に説明しています。28～29ページをご覧ください。体の部位を人
間と他の生き物で比較できるようになっており、児童の興味関心が広げられる内容になっていま
す。また、体の不思議が感じられるよう、だまし絵やクイズなども記載されています。理科や自
立活動と関連付けて活用できる内容になっています。

3冊目は、外国語で取り入れた、チャイルド本社「わくわくチャレンジえほん えいごめいろ 24」です。本書は、迷路を楽しみながら、日常的なあいさつや、くらしの中で使える英語表現を中心に学ぶことができるよう工夫されており、生活に役立てることができる内容となっています。16ページをご覧ください。内容に適した文字の大きさと、場面に即した親しみやすいイラストが用いられています。英語には、発音の参考になる読み方が片仮名、アクセント部分は太い文字、色文字で表記されており、学習に取り組みやすい工夫がなされています。また、本書にはQRコードが添付されており、タブレットやパソコンを使ってネイティブの音声英語を聞き、発音についても触れることで、一人一人の教育的ニーズに応じた指導ができる内容となっています。

以上の3冊が、令和7年度使用小学校特別支援学級用教科用図書として、新たに取り入れた図書です。

全35冊、小学校特別支援学級用教科用図書として、ふさわしいと思われる図書について調査研究し、資料としてまとめましたので、御審議をよろしくお願いいたします。

会長：報告いただきました内容について、委員の皆様から質問がありましたら、よろしくお願いいたします。

会長：では、調査員の先生ありがとうございました。

会長：では続きまして、中学校特別支援学級についての報告です。調査員の先生の入室をお願いいたします。

会長：調査内容について、報告をお願いします。

調査員：令和7年度使用中学校特別支援学級教科用図書につきまして、調査結果を報告いたします。要項の5～6ページの「令和7年度使用中学校特別支援学級用教科用図書一覧表」の一般図書とある枠内をご覧ください。全部で32冊について調査研究いたしました。今回の調査では、今まで使用していた図書に追加して、新たに2冊を取り入れ、4冊を削除いたしました。新たに取り入れた図書には、◇印がついています。音楽1冊、道徳1冊の合計2冊です。変更のなかったものについては、説明を省かせていただき、新しく取り入れた図書2冊、削除した4冊について御説明いたします。

初めに、音楽の◇印の「こどものうた絵本 140 曲」について御説明いたします。この図書は、イラストが簡易でわかりやすく、親しみやすく描かれており、興味を持って生徒が学習することができると思います。また、歌唱だけでなく表現・鑑賞の内容に類似される題材が配置されており、学習指導要領の目標・内容に十分即していると判断いたしました。特別支援学校学習指導要領の音楽科1段階の目標アには、「音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくり、身体表現の技能を身に着ける」とあり、本図書はこの目標を達成するために十分な内容を取り扱うことができると判断いたしました。例えば102ページには振付の手本が示されており、真似をしながら学習に取り組むことで、心理的にも身体的にも易しく学習へ向かうことができると考えられます。本図書では、多くのページで身体表現を取り扱う構成となっており、音楽科の目標達成

に向け適切であると判断いたしました。器楽表現に関する活動については、44～45 ページ等で器楽に関する内容の題材が配置されています。この内容について、楽器を演奏させて授業を展開するなど、授業者の柔軟な活用方法によって、学習指導要領の指導内容を十分取り扱うことができると判断いたしました。音楽づくりの活動に関しても、本図書の譜面について視写を行うことで指導内容が取り扱えと判断いたしました。

次に、道徳の「絵でわかるこどものせいかつずかん④ おつきあいのきほん」について御説明いたします。こちらの図書は、人との関わりについての事例が取り上げられているものとなります。場面ごとに具体的な行動をイラストを用いて配置されており、生徒に親しみやすい内容となっています。文章表現も平易で親しみやすく、ほとんどがひらがなで書かれているため、生徒が理解しやすい構成となっております。具体的な場面については、例えば 12～13 ページでは、学校生活で周りの人と上手に関わる上で必要となる「しんせつにする」という内容が親しみやすいイラストと共に扱われております。社会生活について、26～27 ページでは、「きんじょのひとのおつきあい」という内容が配置されています。この題材では、希薄となっている「地域との関わり」という現代社会の課題について扱うことができます。

そして、36～37 ページでは、「でんわとてがみ」という題材が配置されており、生徒の生活経験を広げる内容が取り扱われています。自立活動や特別活動などといった、他教科とも関連を図りながら活用して使うことも期待できます。

以上の 2 冊が令和 7 年度中学校特別支援学級教科用図書として、新たに取り入れた図書です。

続いて、削除した 4 冊について御説明させていただきます。

はじめに、道徳の「もうもやもやしない！気持ちの伝え方」についてです。こちらの図書はこれまでも採択されていたものですが、出版社「日本図書センター」に確認したところ、来年度は絶版となり供給不能のため、削除させていただきました。

次に、社会科「社会にぐーんと強くなる小学 4 年生」、理科「シグマベストこれでわかる理科小学 4 年」についてです。来年度より知的障がい者用文部科学省著作教科用図書、通称「☆本」が「社会・理科」の教科で採択されることに伴い、掲載内容を比較検討した結果、内容に重複する点が多く、有益な差は見られないと判断したため、削除させていただきました。

最後に、数学科の「シグマベストこれでわかる算数小学 3 年」についてです。こちらの図書は、特別支援学級知的障がい者向けの一般図書として採択するには、内容として高度なものと判断したため削除させていただきました。この図書が扱う指導内容については、下学年の教科書を使用することで取り扱うことができると判断いたしました。

全 32 冊、中学校特別支援学級用教科用図書としてふさわしいと思われる図書について、調査研究し、資料としてまとめましたので、御審議をよろしくお願いいたします。

会 長：ありがとうございました。それでは、報告いただきました内容について、委員の皆様から質問はございますか。

委 員：一般図書はとてもたくさんあり、その中からどうやって選んでくるのかなというのが単純な疑問

なのですが、教えてください。

調査員：特別支援学級の知的学級在籍生徒は教育課程を変更することができるので、下学年の学習をすることができます。ですので、当該学年の教科書がちょっと難しいなという場合は下学年の教科書を使用することができます。下学年の教科書でもちょっと難しいかなという場合に、通称「☆本」というものを使います。その「☆本」の内容でも難しいなというときには、一般図書を使います。一般図書を選ぶ基準としては、まず「☆本」がベースになります。あとは、特別支援学級の学習指導要領の指導内容、目標に沿って選びます。県で作成されている一般図書一覧を参考にしたり、本屋さんに行って絵本やテキストからも参考にさせていただいたりして段階で選んでいます。

会 長：そのほかいかがでしょうか。
それでは、調査員の先生ありがとうございました。

会 長：次は協議ですので、傍聴人が入室いたします。

事務局：傍聴人はなしのようです。

会 長：それでは、協議を始めます。特別支援学級の教科用図書につきまして、小学校、中学校それぞれについて御意見をお伺いしたいと思います。何かありましたらお願いいたします。

委 員：特別支援学級ということで、様々なお子さんたちの学ぶ教科書を採択するということとても大変だなと思ったのと、先ほど質問していただきましたけれども、一般図書について、どれがいいかをお子さんたちに合った良いものという点で見つけていただくことはすごく大変なことであつたのではないかなと思います。これだけたくさんの教材があれば、合うものを選べるだろうと思います。この選定でよいと思います。

会 長：ありがとうございます。その他ございますか。
それでは、次は議決となりますので、傍聴の皆様は、いらっしやいませんで、さっそく議決に入りたいと思います。

会 長：小学校特別支援学級の教科用図書については、新たな3冊を加えるということでよろしいでしょうか。

委 員：結構です。

会 長：それでは、小学校特別支援学級の教科用図書については新たな3冊を加えた 35 冊を認めるということにします。

会 長：中学校特別支援学級の教科用図書については、新たな2冊を加えるということによろしいでしょうか。

委 員：結構です。

会 長：それでは、中学校特別支援学級の教科用図書については新たな2冊を加えた 32 冊を認めるということにします。すべての選定が終了しました。私の進行は以上で終了いたします。本日選定されたものを教育委員会に答申をさせていただきます。それでは、進行を事務局に戻します。

事務局：委員の皆様、御協議ありがとうございました。会長からもありましたとおり、本日の内容は明日の教育委員会に答申いたします。以上で、令和6年度第2回大田原市立小中学校教科用図書選定委員会を閉会とさせていただきます。大変お疲れさまでした。